

資料1 図柄ナンバープレート(地方版)導入希望 等調査結果について

○目的

令和6年7月より、「国柄入りナンバープレート等に関する検討会」を設置し、既に導入している国柄ナンバープレートの交付状況、ユーザーや自治体等のニーズを踏まえ、国柄ナンバープレート等に係る課題や今後の方向性について検討してきたところ、令和7年6月に公表した中間取りまとめにおける決定事項を踏まえ、令和8年春の国柄ナンバープレート(地方版)導入要綱改定に向けて地方自治体における導入希望等を把握するために実施するもの。

○対象

全国の都道府県、市区町村(1,788自治体)

○実施期間

令和7年8月18日(月)～令和7年9月12日(金)

※9月26日(金)までに回答されたものを集計

○調査手法

Microsoft Forms形式・任意回答

○回答数(令和7年9月26日時点)

790自治体(44.2%)

○調査内容

1. 自治体の概要
2. ご当地ナンバーの導入等検討状況
3. 国柄ナンバープレート(地方版)の導入等検討状況
 - (1)モノトーン廃止(フルカラーへの一本化)
 - (2)寄付金の使途
 - (3)ふるさと版(仮称)
 - (4)今後の導入希望
4. その他意見

・自治体単位別回答状況

	総数	回答数(前回※)	回答率(前回※)
都道府県	47	42(25)	87. 2%(53. 2%)
市区町村	1, 741	748(559)	43. 0%(32. 1%)
合計	1, 788	790(584)	44. 2%(32. 7%)

※令和3年調査時

・回答自治体のご当地ナンバー導入状況

	総数	ご当地導入済	ご当地未導入
市区町村	748	120	628

・回答自治体の国柄ナンバープレート導入状況

	総数	国柄導入済	国柄未導入
都道府県	42	25	17
市区町村	748	226	522
合計	790	251	539

2. ご当地ナンバーの導入等検討状況について

- 導入済市区町村(120)
 - ─ 变更を予定していない(107)
 - ─ 現時点では未定(13)

- 未導入市区町村(628)
 - ─ ①単独市区でご当地ナンバーの導入を検討中(3)
 - ─ ②単独市区でご当地ナンバーの導入を検討予定(10)
 - ─ ③複数市町村でご当地ナンバーの導入を検討中(6自治体2地域)
 - ─ ④複数市町村でご当地ナンバーの導入を検討予定(4自治体4地域)
 - ─ ⑤既存のご当地ナンバーの構成市区町村への編入を検討中(0)
 - ─ ⑥既存のご当地ナンバーの構成市区町村への編入を検討予定(1)
 - ─ ⑦いずれも予定していない(432)
 - ─ 現時点では未定(172)

- 
- ・ご当地ナンバー導入済自治体における区域変更や名称変更等は予定されていない。
 - ・未導入自治体においては、第6弾(図柄及びご当地導入)として、13自治体及び6地域の導入検討と1地域における編入検討が実施中又は予定されている。

設問 2. ①-(1)

台数要件緩和に伴う変更について(導入済市区町村)

中間取りまとめP5～6において、「図柄ナンバープレート（地方版）の次回導入にあたり、単独市区町村としての台数要件を登録車保有台数 7万台、登録車及び軽自動車保有台数 12万台程度まで緩和することが適当である。」、
中間取りまとめP9において、

「・ご当地名及び図柄を導入する場合

- | | |
|-----------|------------------------|
| 令和 8 年度中 | ご当地名提案に係る地方自治体における合意形成 |
| 令和 9 年度前半 | 地方自治体による導入申込 |
| 令和 8～9 年度 | 地方自治体における図柄の選定 |
| 令和 9 年度後半 | 地方自治体による図柄提案 |

(令和 11 年度前半 図柄の決定、交付開始)」とされたところ、最も近い状況を選択ください。

なお、構成市区町村の変更、地域名の変更及び地域名の廃止については、地域名表示の対応地域を構成する全市区町村の合意が必要となること等にご留意ください。詳しくは現行の地方版図柄入りナンバープレート導入要綱P 2～4をご参照ください。

- ① ご当地ナンバーの構成市区町村の変更を検討中
- ② ご当地ナンバーの構成市区町村の変更を検討予定
- ③ ご当地ナンバーの地域名の変更を検討中
- ④ ご当地ナンバーの地域名の変更を検討予定
- ⑤ ご当地ナンバーの地域名の廃止を検討中
- ⑥ ご当地ナンバーの地域名の廃止を検討予定
- ⑦ ①～⑥のいずれも予定していない。
- ⑧ 現時点では未定。

現在の状況について詳細をご回答ください。

(自由記述)

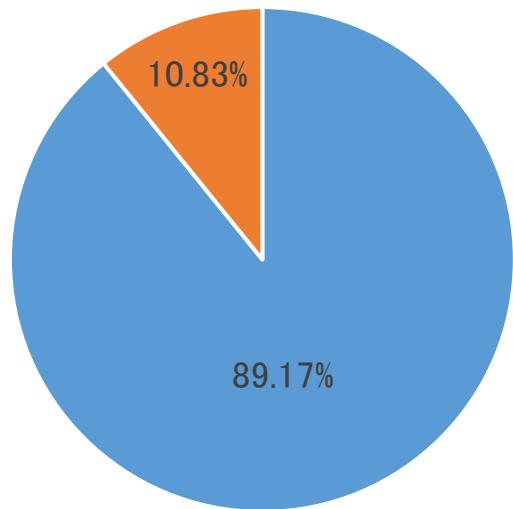
例：B市、C町と地域名の変更に向けて協議中。

設問 2. ①-(1)

台数要件緩和に伴う変更について（導入済市区町村）

- ご当地ナンバーの導入済市区町村について、構成市区町村の変更、地域名の変更及び地域名の廃止を検討中または検討予定の自治体はなし。

(n=120)



- ① ご当地ナンバーの構成市区町村の変更を検討中
- ③ ご当地ナンバーの地域名の変更を検討中
- ⑤ ご当地ナンバーの地域名の廃止を検討中
- ⑦ ①～⑥のいずれも予定していない。
- ② ご当地ナンバーの構成市区町村の変更を検討予定
- ④ ご当地ナンバーの地域名の変更を検討予定
- ⑥ ご当地ナンバーの地域名の廃止を検討予定
- ⑧ 現時点では未定。

自由記載の一例

- ・構成市町及び地域名の変更は行わず、図柄のみ変更を検討中。
- ・ご当地ナンバーの構成市町村や地域名の変更等に係る議論自体行っていない。
- ・地域名や構成市町村の変更等についての話は特に出ていない。
- ・構成市町村や地域名の変更等について、協議予定なし。

2.ご当地ナンバーについての設問②- (1)

設問 2. ②-(1)

台数要件緩和等に伴う導入意向について(未導入市区町村)

中間取りまとめP5～6において、「図柄ナンバープレート（地方版）の次回導入にあたり、単独市区町村としての台数要件を登録車保有台数 7万台、登録車及び軽自動車保有台数 12万台程度まで緩和することが適当である。」、

中間取りまとめP9において、

「・ご当地名及び図柄を導入する場合

令和 8 年度中 ご当地名提案に係る地方自治体における合意形成

令和 9 年度前半 地方自治体による導入申込

令和 8～9 年度 地方自治体における図柄の選定

令和 9 年度後半 地方自治体による図柄提案

(令和 11 年度前半 図柄の決定、交付開始)」とされたところ、最も近い状況を選択ください。

なお、新たな地域名表示の追加については、地域名表示の対応地域を構成する全市区町村の合意が必要となること等にご留意ください。詳しくは現行の地方版図柄入りナンバープレート導入要綱P 2～4をご参照ください。

- ① 単独市区でご当地ナンバーの導入を検討中
- ② 単独市区でご当地ナンバーの導入を検討予定
- ③ 複数市町村でご当地ナンバーの導入を検討中
- ④ 複数市町村でご当地ナンバーの導入を検討予定
- ⑤ 既存のご当地ナンバーの構成市区町村への編入を検討中
- ⑥ 既存のご当地ナンバーの構成市区町村への編入を検討予定
- ⑦ ①～⑥のいずれも予定していない。
- ⑧ 現時点では未定。

現在の状況について詳細をご回答ください。

(自由記述)

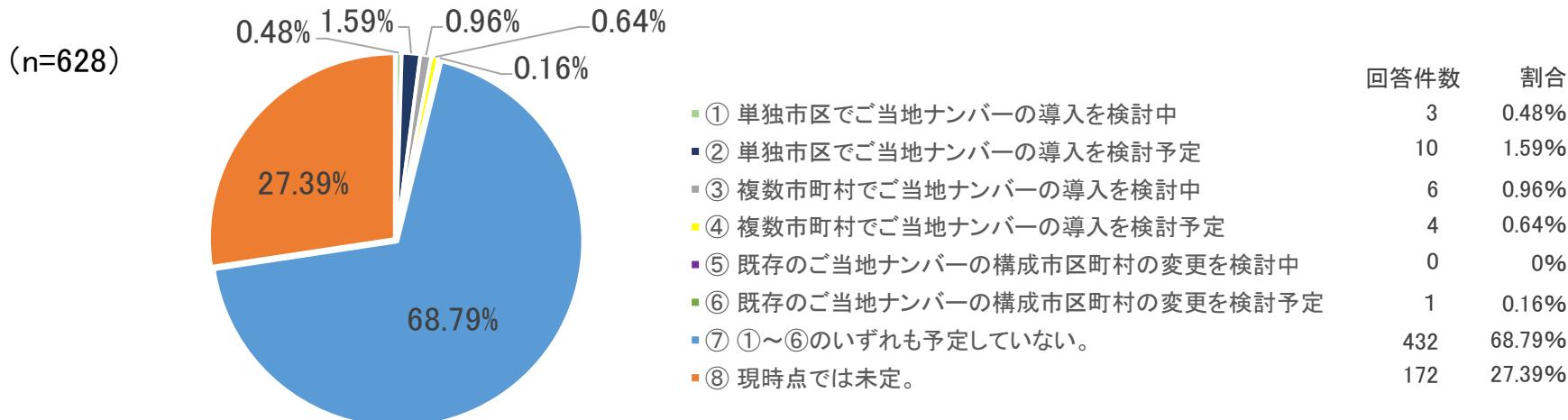
例：B市、C町と導入に向けて検討中。その他地域にも呼びかけを実施中。

2.ご当地ナンバーについての設問②- (1) の回答

設問 2. ②-(1)

台数要件緩和等に伴う導入意向について（未導入市区町村）

- 単独市区でご当地ナンバーの導入を検討中(3自治体)、単独市区でご当地ナンバーの導入を検討予定(10自治体(台数要件を満たしていない3自治体含む))、複数市町村でご当地ナンバーの導入を検討中(6自治体2地域)、複数市町村でご当地ナンバーの導入を検討予定(4自治体4地域)、既存のご当地ナンバーの構成市区町村への編入を検討予定(1自治体)の回答がなされている。
- 現時点では未定と回答した自治体においても、自由記載の中で検討の動きに言及している事例も見受けられる。



現時点では未定と回答した自治体の自由記載の一例

- ・中間とりまとめのとおり台数要件が緩和された場合、単独で要件を満たせるようになるため、導入について検討する可能性はあるが、現状として具体的に検討しているわけではない。
- ・令和4年度に導入に向けて検討を重ねたが、まとまらずに導入意向表明を見送った。それ以降、導入に向けた検討はしていない。
- ・単独市で条件を満たした場合、導入をするか検討する。
- ・近隣市に対して導入を呼びかけるための準備を行っている。
- ・令和4年度に近隣自治体と合同でご当地ナンバーの導入について検討を行ったが、表記地名で協議が整わなかったことから、単独で実施が可能となった段階で再度検討することになった。
- ・近隣市町より複数市町村での導入について打診があったが、十分な協議が行われておらず、方向性は決まっていない。
- ・近隣市と導入に向けて検討予定。

2.その他ご当地ナンバーに関するご意見

その他ご当地ナンバーに関するご意見

1. 交付開始時期の早期化

・「図柄ナンバープレート」の交付開始時期の早期化が難しい場合はご当地ナンバーの交付開始時期だけでも早期化してほしい。

2. 更なる台数の緩和

・登録車台数が6万台代であり、中間取りまとめ示された単独市町村の台数要件を満たさなかったため、今回は導入を断念した。さらなる台数要件緩和を検討してほしい。

3. 同一自治体内における地域名表示(行政区)

・地域の実情に応じて、単一の自治体内で地域名表示(行政区)を認めてほしい。

4. 同一自治体内における地域名表示のユーザーによる選択

・地域名を一つに絞る合意形成が困難であるため、単一の自治体内で二つの地域名表示をユーザーの選択ができるようにしてほしい。

5. 既存のご当地ナンバー地域を包含した地域における導入

・ご当地ナンバーの導入を検討しようとする地域のうち一部の自治体において既にご当地ナンバーが導入されていることから、既存のご当地ナンバーを含めた地域で新たなご当地ナンバーを導入できるようにしてほしい。

6. その他

・ナンバーは課税における車両特定情報であり、地域振興や観光振興の観点と同時に、課税事務コスト増加(自動車税・軽自動車税の課税システムの改修不可避。かつ仮にA市が新地域名表示を希望した場合、都道府県におけるA市以外の市町村住民もコストを負担することとなる)の観点も踏まえて検討されるべきではないか。

・小規模自治体がご当地ナンバー・図柄を単独で導入することは現状不可能であるとともにメリット等は特になく、導入検討の余地がない。複数自治体での導入においても、それぞれの自治体の恩恵が目に見えないため、検討そのものが難しい。一方で、要件を引き下げすぎて、無尽蔵に導入を希望する自治体が増加すると、事務負担等が増加するため、現状の要件に該当し、希望がある市区町村のみ導入する形が適切ではないか。

3.図柄ナンバープレートについての設問①-(1)

設問 3.① -(1)

モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について（導入済都道府県・市区町村）

中間取りまとめP9において、「令和10年度からフルカラー図柄のみを交付することが適当である」とされたところ、現時点でもっと近いお考えを選択下さい。

なお、令和9年度の更新判断時期において更新基準のいずれかを満たさない場合、図柄デザインを変更しなければ交付終了となることにご留意ください。詳しくは現行の地方版図柄入りナンバープレート導入要綱P14をご参照ください。

- ① 現在のフルカラー図柄を継続
 - ② 現在の図柄デザインを継続するが、色のトーンを変更
 - ③ 図柄デザインを変更
 - ④ 図柄を廃止
- (②～④)の場合は地域住民等に交付終了日等を十分に周知する必要があります。)

上記の理由について最も近いものを選択ください。

- ① 交付件数が順調であるため
- ② 交付件数が不調であるため
- ③ 変更する理由がないため
- ④ 更新基準を満たさない可能性があるため
- ⑤ その他（自由記載）

モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について当てはまるお考えを全て選択ください。

- ① 寄付金なしのモノトーン図柄がなくなり、フルカラー図柄を選択するユーザーが増えて、結果として寄付金収入が増加するため、良いと思う
- ② モノトーン図柄の制作を前提としなくなり、デザインがしやすくなるため、良いと思う
- ③ モノトーンが廃止されても自治体として困ることはない
- ④ ユーザーの選択肢が減るため、良いと思わない
- ⑤ モノトーン図柄が廃止されると地域の魅力を発信できなくなるため、良いと思わない。
- ⑥ その他（自由記載）

更新判断の対象	■更新基準	
	普及率※1	申込件数※2
平成30年10月に交付を開始した図柄	0.8%	500件
令和2年5月に交付を開始した図柄	0.6%	500件
令和5年10月に交付を開始した図柄	0.3%	500件
令和7年5月に交付を開始した図柄	0.2%	500件

※1更新判断時の直近四半期末時点

※2更新判断時の直近四半期末時点から過去1年間

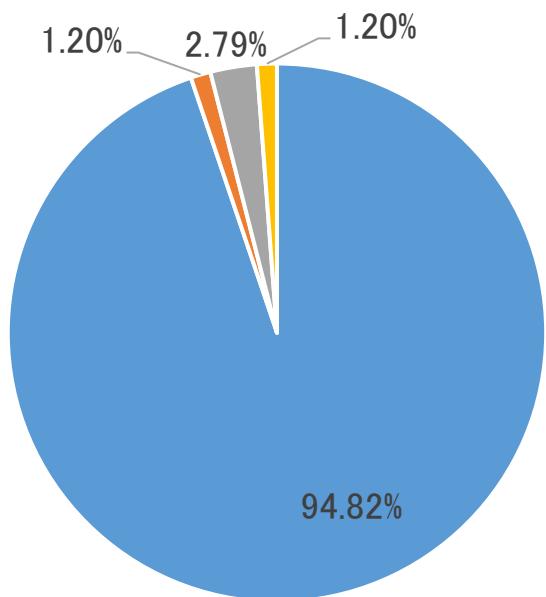
3.図柄ナンバープレートについての設問①-(1)の回答

設問 3.(1)-(1)

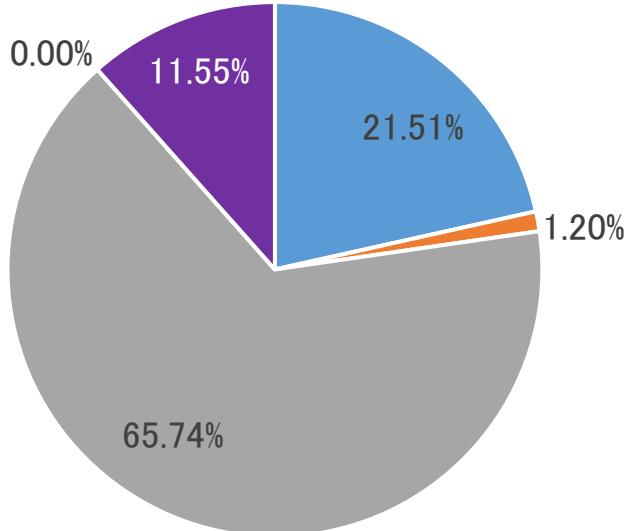
モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について（導入済都道府県・市区町村）

- 約9割の自治体が現在のフルカラー図柄を継続すると回答し、その理由として約2割が交付件数が順調であるため、約6割が変更する理由がないためと回答。
- この他、交付件数が不調であるため色のトーンを変更予定と回答した自治体が1、図柄デザインを変更と回答した自治体が2、図柄を廃止と回答した自治体が2。
- 図柄デザインの変更理由として「実際に道路を走る車でほとんど見たことがない」、「更新基準を満たさないものや、その他変更希望があればデザインを変更」。図柄廃止の理由として「交付件数が不調であるため」、「本来的にはナンバープレートに視認性が下がる図柄を入れることに反対。」と回答。

(n=251)



- ① 現在のフルカラー図柄を継続
- ② 現在の図柄デザインを継続するが、色のトーンを変更
- ③ 図柄デザインを変更
- ④ 図柄を廃止



- ① 交付件数が順調であるため
- ② 交付件数が不調であるため
- ③ 変更する理由がないため
- ④ 更新基準を満たさない可能性があるため
- ⑤ その他(自由記載)

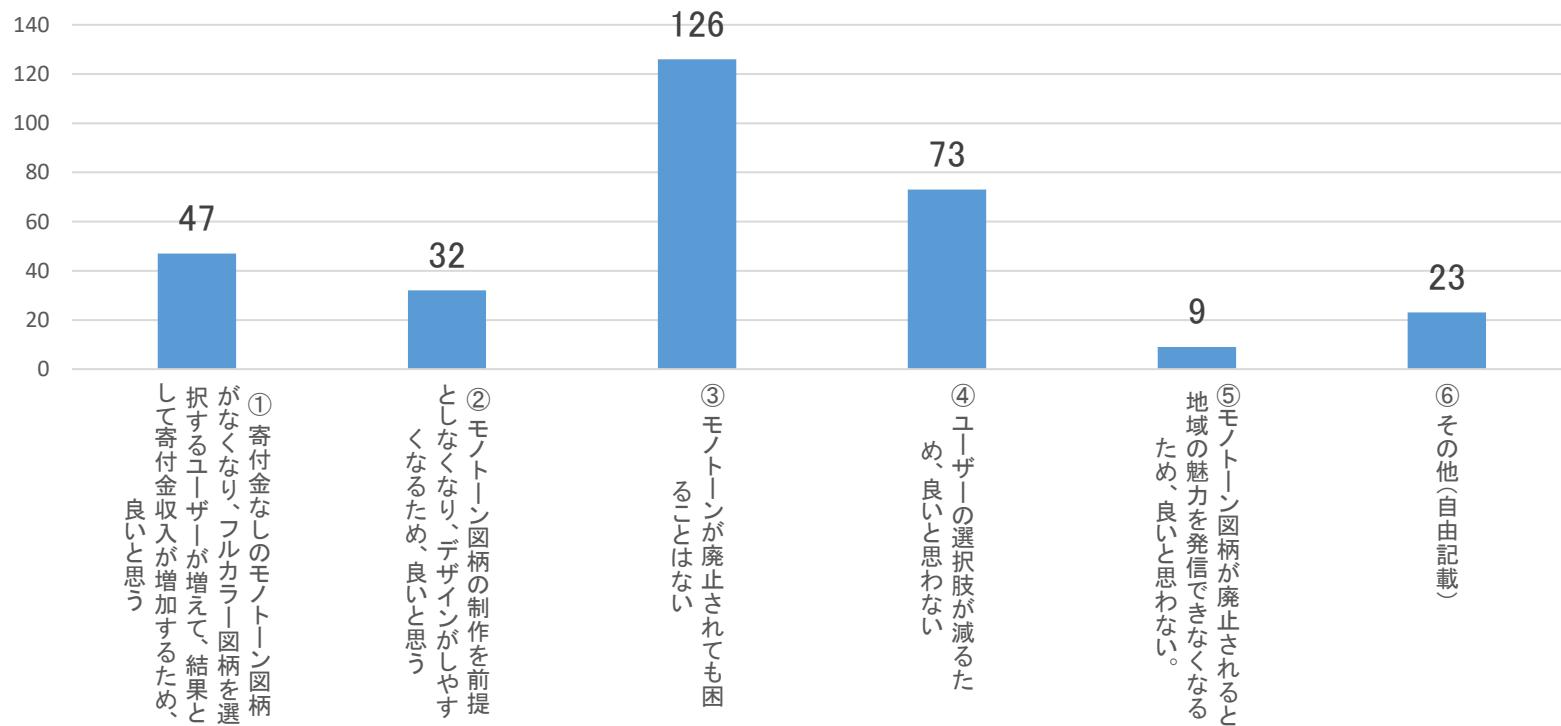
3.図柄ナンバープレートについての設問①-(1)の回答

設問 3.① -(1)

モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について（導入済都道府県・市区町村）

- 「寄付金収入が増加するため良いと思う」、「デザインがしやすくなるため良いと思う」、「モノトーン図柄が廃止されても困ることがない」と肯定的な回答した自治体が多い一方、「ユーザーの選択肢が減るため良いと思わない」と否定的な回答を選択した自治体も一定数存在している。

複数回答 (n=296)



自由記載の一例

・県が主導しているため判断できない、県に従う。

設問 3.② -(1)

モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について（未導入都道府県・市区町村）

中間取りまとめP8において、「次回導入する図柄ナンバープレート（地方版）については、寄付金付きフルカラー図柄のみとすることが適当である」とされたところ、モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について現時点で当てはまるお考えを全て選択下さい。

- ① 寄付金なしのモノトーン図柄がなくなり、フルカラー図柄を選択するユーザーが増えて、結果として寄付金収入が増加するため、良いと思う
- ② モノトーン図柄の制作を前提としなくなり、デザインがしやすくなるため、良いと思う
- ③ モノトーンが廃止されても自治体として困ることはない
- ④ ユーザーの選択肢が減るため、良いと思わない
- ⑤ モノトーン図柄が廃止されると地域の魅力を発信できなくなるため、良いと思わない。
- ⑥ その他（自由記載）

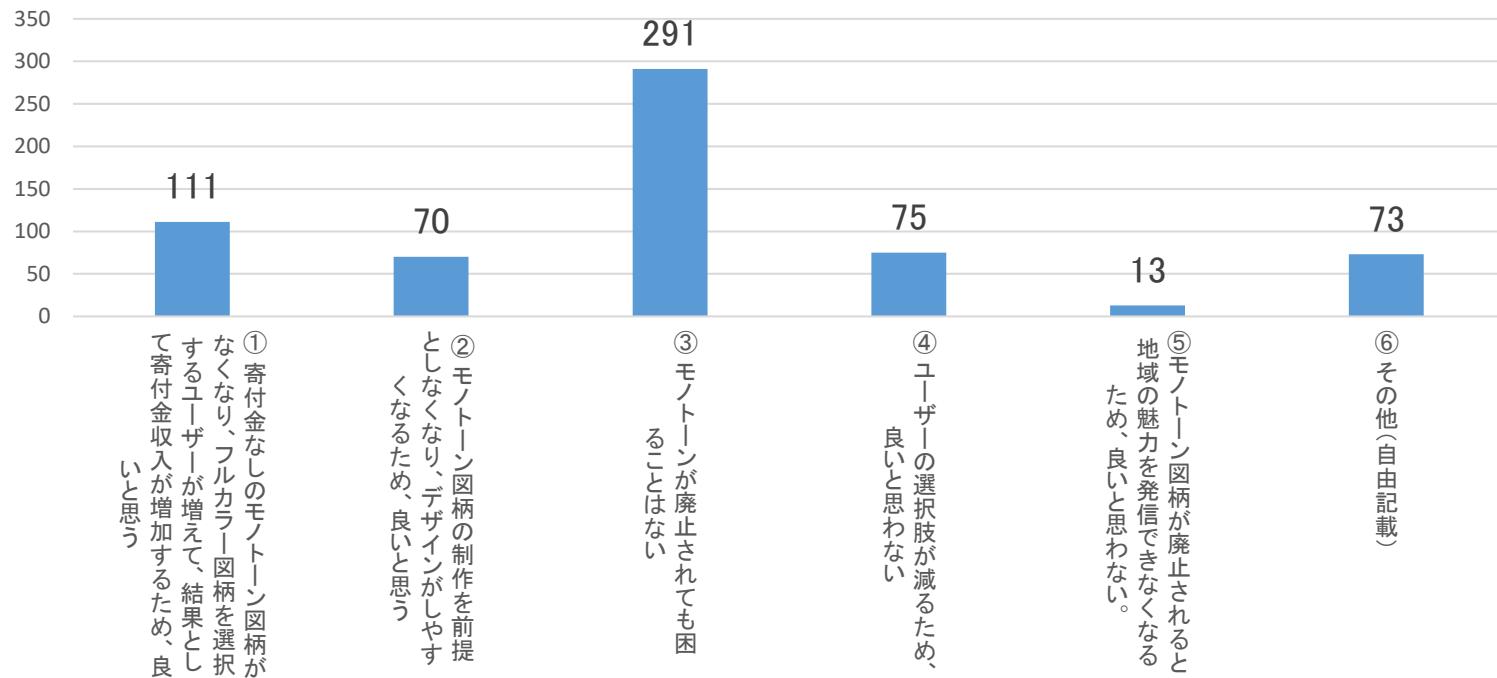
3.図柄ナンバープレートについての設問②-(1)の回答

設問 3.② -(1)

モノトーン図柄廃止（フルカラー図柄への一本化）について（未導入都道府県・市区町村）

- 「寄付金収入が増加するため良いと思う」、「デザインがしやすくなるため良いと思う」、「モノトーン図柄が廃止されても困ることがない」と肯定的な回答した自治体が多い一方、「ユーザーの選択肢が減るため良いと思わない」と否定的な回答を選択した自治体も一定数存在している。

複数回答 (n=633)



自由記載の一例

- ・未導入のためわからない。
- ・未導入のため、どのような影響があるか検討していない。
- ・未導入のため、判断材料となるデータや情報が不足している。

3. 図柄ナンバープレートについての設問①-(2)、②-(2)

設問 3. ① -(2)

寄付金の使途について（導入済都道府県・市区町村）

中間取りまとめP9において、「次回の図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱において、寄付金の使途として、「災害復旧・復興支援」を追加することが適当である。」とされたところ、最も近いお考えを選択ください。

なお、現在でも、災害復旧・復興支援に資する「公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化」・「観光旅行客の受け入れ体制の強化」・「街づくり」・「観光施設・拠点等の保全・整備」の目的に寄付金を活用することは可能です。
他地域の寄付金活用方針については以下のホームページで確認いただくことが可能です。

- ① 災害復旧・復興支援に活用したい
- ② 今後、災害が発生した場合に災害復旧・復興支援に活用したい
- ③ 使途について既に合意形成されているため、災害復旧・復興支援に活用することが困難
- ④ その他（自由記載）

図柄導入済地域の寄付金活用方針公表ページ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk6_000061.html

設問 3. ② -(2)

寄付金の使途について（未導入都道府県・市区町村）

中間取りまとめP9において、「次回の図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱において、寄付金の使途として、「災害復旧・復興支援」を追加することが適当である。」とされたところ、最も近いお考えを選択ください。

なお、現在でも、災害復旧・復興支援に資する「公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化」・「観光旅行客の受け入れ体制の強化」・「街づくり」・「観光施設・拠点等の保全・整備」の目的に寄付金を活用することは可能です。
導入地域の寄付金活用方針については以下のホームページで確認いただくことが可能です。

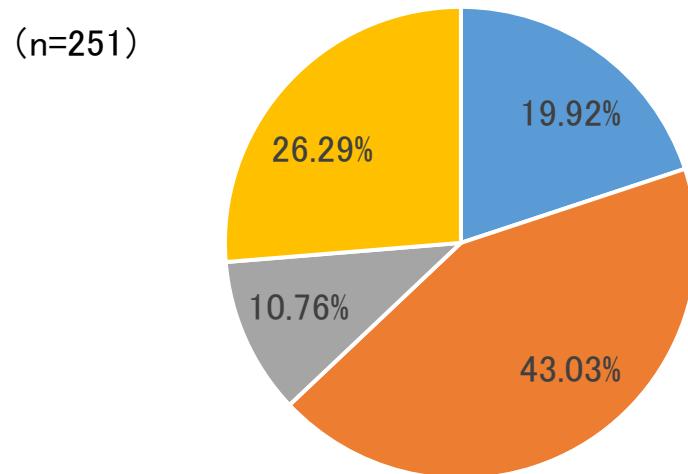
- ① 災害復旧・復興支援を目的として機運醸成していきたい
- ② 今後、災害が発生した場合に災害復旧・復興支援を目的として機運醸成していきたい
- ③ 災害復旧・復興支援を目的に機運醸成する必要がない
- ④ その他（自由記載）

図柄導入済地域の寄付金活用方針公表ページ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk6_000061.html

設問 3. ① -(2)

寄付金の使途について（導入済都道府県・市区町村）

- 約2割の自治体が災害復旧・復興支援に活用したい、約4割の自治体が今後、災害が発生した場合に災害復旧・復興支援に活用したいと回答。
- その他意見として、以下の回答があった。
 - ・使途について既に合意形成されているが、必要があれば災害復旧・復興支援に活用することを検討する。
 - ・災害復旧・復興支援への活用も良いが、寄付活用の事務手続きがやや煩雑なのと、地域の寄付金額を考慮すると、実際に災害復旧・復興支援に活用することは難しいと感じる。
 - ・道路復旧に使えるよ。
 - ・現在の活用状況を詳細に把握していないため回答不可。
 - ・対象地域内の自治体との合意形成次第。

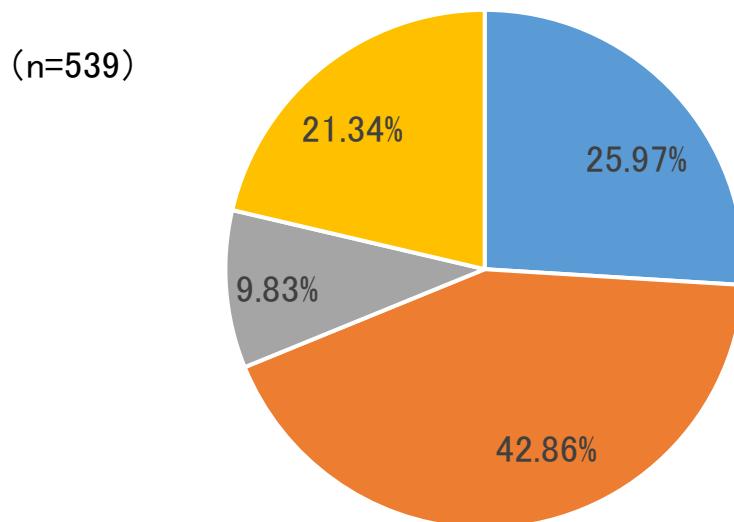


- ① 災害復旧・復興支援に活用したい
- ② 今後、災害が発生した場合に災害復旧・復興支援に活用したい
- ③ 使途について既に合意形成されているため、災害復旧・復興支援に活用することが困難
- ④ その他(自由記載)

設問 3. ② -(2)

寄付金の使途について（未導入都道府県・市区町村）

- 約2割の自治体が災害復旧・復興支援に活用したい、約4割の自治体が今後、災害が発生した場合に災害復旧・復興支援に活用したいと回答。
- その他意見として、以下の回答があった。
 - ・寄附実績からは、行政コストの増に見合う寄附金額とは考えにくい。
 - ・車に関する使途に限ったほうがよい。
 - ・有効な施策かの判断ができない。
 - ・導入していないため実情を理解しておらず回答不可。



- ① 災害復旧・復興支援を目的として機運醸成していきたい
- ② 今後、災害が発生した場合に災害復旧・復興支援を目的として機運醸成していきたい
- ③ 災害復旧・復興支援を目的に機運醸成する必要がない
- ④ その他(自由記載)

設問 3. ① -(3)

ふるさと版（仮称）について（共通）

中間取りまとめP10において、「他地域の図柄ナンバープレート（地方版）の交付を可能とする新たなスキーム「図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）」について検討することが望まれる。」とされたところ、最も近いお考えを選択ください。

- ① 自地域の図柄を他地域でも交付可能となれば、寄付金をより集められる可能性がある
- ② 自地域の図柄を他地域でも交付可能となれば、「走る広告塔」として自地域の魅力を全国で発信することができる
- ③ 他地域の図柄が自地域でも交付可能となれば、自地域の図柄の交付件数が減少し、寄付金が減少する可能性がある
- ④ 他地域の図柄が自地域でも交付可能となれば、「走る広告塔」として自地域の魅力を全国に発信することができない

中間取りまとめP10～11において、「特に交付件数が少ない場合には標板交付代行者の負担が増えることから、図柄ナンバープレート（ふるさと版）の交付を受ける自動車ユーザー又は当該制度に参加する自治体に対して費用負担を求めるのか 等今後、本検討会において、自治体による意見等も聴取しつつ、これらの課題を整理した上で、令和7年度内目途に図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の今後の方向性について結論を得ることを目指す。」とされたところ、特に自地域の図柄ナンバープレートの他地域での交付件数が少ない場合の費用負担先として考えられるものを全て選択ください。なお、費用については、機械の追加設備投資や工数増加に対応する新規雇用など準備段階の費用も含まれるものとお考えください。

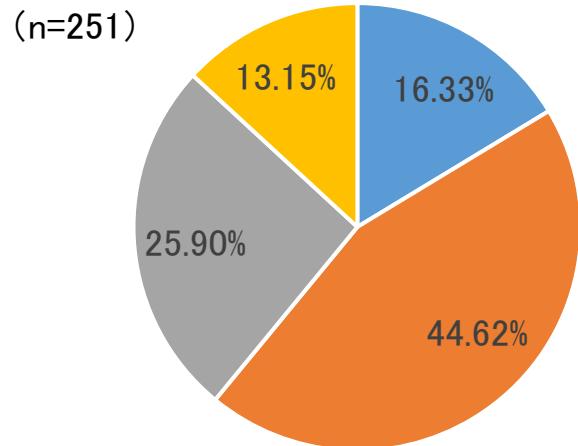
- ① ふるさと版を導入した自地域の自治体
- ② ふるさと版を導入した自地域の自動車ユーザー
- ③ ふるさと版の交付を受ける他地域の自治体
- ④ ふるさと版の交付を受ける他地域の自動車ユーザー
- ⑤ 図柄ナンバープレートの交付を受ける全ての自動車ユーザー
- ⑥ ナンバープレートの交付を受ける全ての自動車ユーザー
- ⑦ その他（自由記載）

3.図柄ナンバープレートについての設問①-(3)の回答

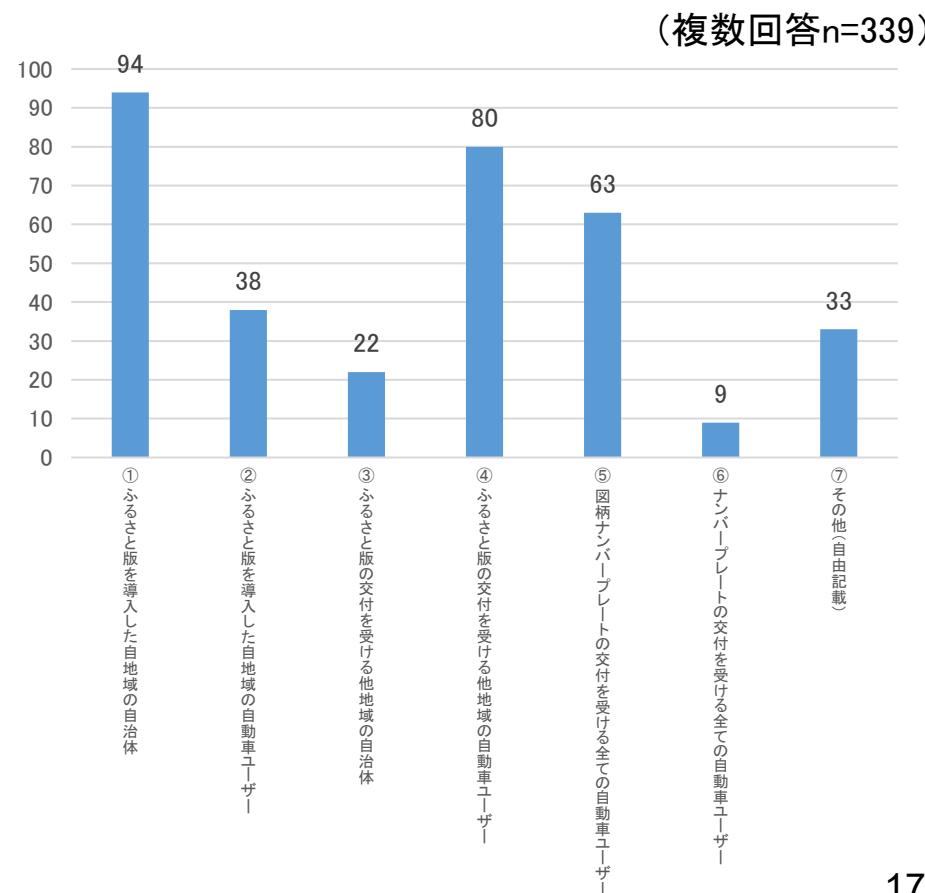
設問 3. ① -(3)

ふるさと版（仮称）について（導入済都道府県・市区町村）

- 約6割の自治体が他地域で自地域の図柄を交付可能となれば、寄付金が増加し、魅力を全国で発信することができると回答。一方、約4割の自治体は自地域で他地域の図柄が交付可能となれば、寄付金が減少し、魅力を全国で発信することができないと回答。
- 費用負担先としては、「自地域の自治体」、「交付を受ける他地域のユーザー」、「交付を受ける全てのユーザー」の順で回答が多かった。



- ① 自地域の図柄を他地域でも交付可能となれば、寄付金をより集められる可能性がある
- ② 自地域の図柄を他地域でも交付可能となれば、「走る広告塔」として自地域の魅力を全国で発信することができる
- ③ 他地域の図柄が自地域でも交付可能となれば、自地域の図柄の交付件数が減少し、寄付金が減少する可能性がある
- ④ 他地域の図柄が自地域でも交付可能となれば、「走る広告塔」として自地域の魅力を全国に発信することができない



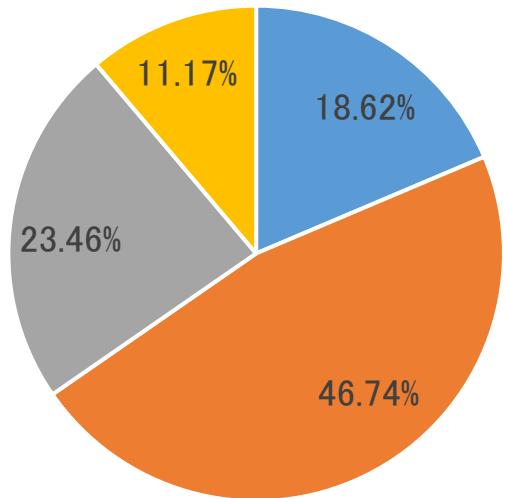
3.図柄ナンバープレートについての設問②-(3)の回答

設問 3. ②-(3)

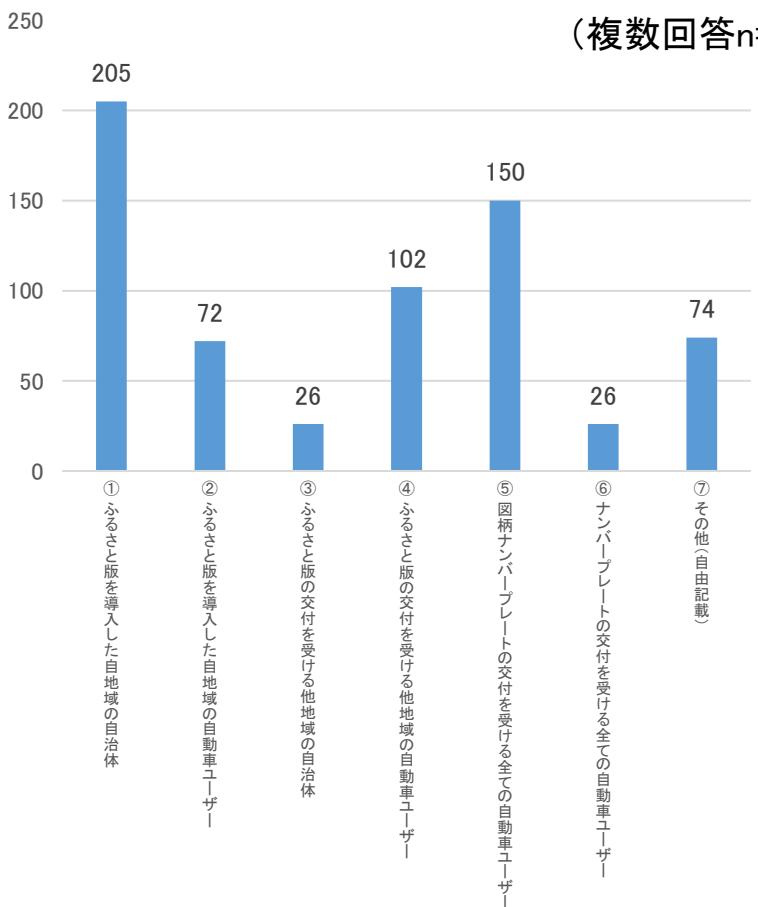
ふるさと版（仮称）について（未導入都道府県・市区町村）

- 約6割の自治体が他地域で自地域の図柄を交付可能となれば、寄付金が増加し、魅力を全国で発信することができると回答。
一方、約4割の自治体は自地域で他地域の図柄が交付可能となれば、寄付金が減少し、魅力を全国で発信することができないと回答。
- 費用負担先としては、「自地域の自治体」、「交付を受ける全てのユーザー」、「交付を受ける他地域のユーザー」の順で回答が多かった。
- その他意見として、以下の回答があった。
 - ・仮称名では、自動車税の課税団体の移転を伴う誤解を生じる恐れがある。
 - ・ふるさと納税と同様に寄付金に地域差が生じる恐れがある。

(n=537)



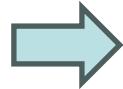
(複数回答n=655)



- ① 自地域の図柄を他地域でも交付可能となれば、寄付金をより集められる可能性がある
- ② 自地域の図柄を他地域でも交付可能となれば、「走る広告塔」として自地域の魅力を全国で発信することができる
- ③ 他地域の図柄が自地域でも交付可能となれば、自地域の図柄の交付件数が減少し、寄付金が減少する可能性がある
- ④ 他地域の図柄が自地域でも交付可能となれば、「走る広告塔」として自地域の魅力を全国に発信することができない

3. 図柄ナンバープレート(地方版)の導入等検討状況

- 未導入市区町村(539)
- ①図柄のみ導入の方向で検討中(9自治体6地域)
 - ②ご当地名及び図柄を導入の方向で検討中(12自治体12地域※)
 - ③導入予定はない(348)
 - ④現時点では未定(170)



- ・第5弾(図柄のみ導入)として、6地域において導入を検討中。

※ご当地ナンバーについて導入を検討中・検討予定と回答した23自治体のうち図柄ナンバープレートについては現時点では未定と回答した自治体が11

設問 3. ② -(4)

今後の導入希望について（未導入都道府県・市区町村のみ）

中間取りまとめP9において、

「導入希望の地方自治体の対応スケジュールは以下を想定している。

・図柄のみを導入する場合

令和 8 年度中	地方自治体における導入申込の検討及び図柄の選定
令和 8 年度後半	地方自治体による導入申込、図柄提案
(令和 9 年度後半	図柄の決定、交付開始)

・ご当地名及び図柄を導入する場合

令和 8 年度中	ご当地名提案に係る地方自治体における合意形成
令和 9 年度前半	地方自治体による導入申込
令和 8~9 年度	地方自治体における図柄の選定
令和 9 年度後半	地方自治体による図柄提案
(令和 11 年度前半	図柄の決定、交付開始) 」とされたところ、今後の予定で最も近いお考えを選択ください。

- ① 図柄のみ導入の方向で検討中
- ② ご当地名及び図柄を導入の方向で検討中
- ③ 導入予定はない
- ④ 未定

現在の検討状況についてご回答ください。（1. で①又は②と回答した自治体のみ）

（自由記述）

例：B市、C町と図柄導入に向けて検討中。その他地域にも呼びかけを実施中。

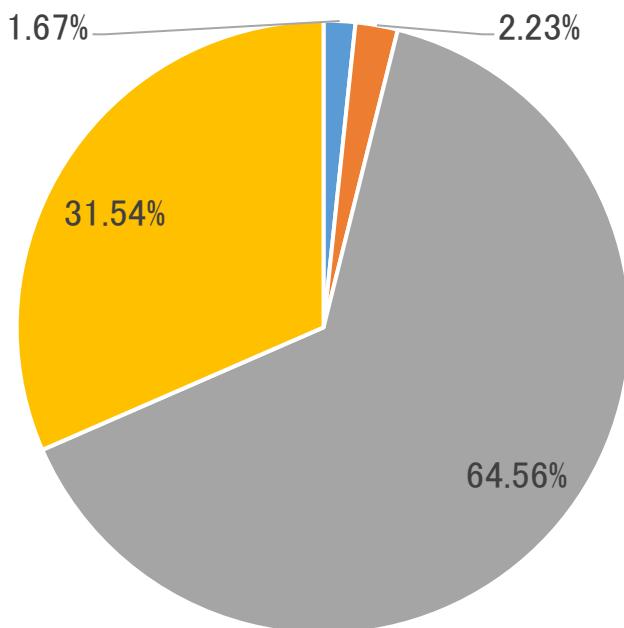
3.図柄ナンバープレートについての設問② - (4) の回答

設問 3. ② -(4)

今後の導入希望について（未導入都道府県・市区町村のみ）

- 図柄のみ導入の方向で検討中(9自治体6地域)の回答があった。第5弾(図柄のみ導入)として、6地域において導入を検討中。
- ご当地名及び図柄を導入の方向で検討中（12自治体12地域）の回答があった。ご当地ナンバーの導入意向において第6弾(図柄及びご当地導入)として、13自治体及び6地域の導入検討と1地域における編入検討が実施又は予定されていたが、これらのうち図柄の検討中と回答した自治体は12。

(n=539)



	回答件数	割合
① 図柄のみ導入の方向で検討中	9	1.67%
② ご当地名及び図柄を導入の方向で検討中	12	2.23%
③ 導入予定はない	348	64.56%
④ 未定	170	31.54%

その他図柄ナンバープレートに関するご意見

1. 交付開始時期の早期化

- ・「図柄ナンバープレート」の交付開始時期を早期化してほしい。

2. 関係自治体が多数ある場合の合意形成の手続き緩和・スケジュールの柔軟化

- ・20以上の関係自治体があるため、関係自治体との合意形成や図柄の選定にあたっての住民意向確認スケジュール感が非常にタイト。まず、提案市で、検討表明するかの議論が始まり、関係市町村との調整内容やスケジュールの検討、必要経費の検討、その後、関係市町村への説明と協力依頼、予算確保依頼という流れが大きくは考えられるが、令和8年の夏から動くと関係市町村の予算要求に間に合わない懸念がある。また、提案市で図柄デザイン制作の予算を確保し、次年度の当初から動けたとしても、デザイン制作、デザイン調整、関係市町村との合意形成(反対があった場合の調整含む)、図柄の住民への意向確認などそれぞれ相応の期間を要するため、申込年度のスケジュールも厳しくなることが想定されるため、手続きとスケジュールを検討してほしい。

3. 同一地域における2種類の図柄導入

- ・既に地域名表示に当市の名称(漢字)が使用されているところ、単独市で平仮名等を使用した地域名でご当地ナンバーとして独立することは可能であるが、「富士山」ナンバーのように同一の地域名で二つの図柄が導入できるのであれば現実的な検討が可能。

4. 視認性の確保

- ・ナンバープレートの役割である「車両の識別」の観点からは、図柄入りナンバープレート、特にフルカラー版は、図柄に目がいってしまいがちで視認性が低下していると考える。